

「おなかのヘルニア外来」について 内視鏡外科部長 福田 健治



先生方におかれましては、平素より大変お世話になっております。

この度、当院では腹腔鏡手術を柱とした「おなかのヘルニア外来」を開設致しましたので、ご紹介いたします。

【背景】

外科領域における腹腔鏡手術の進歩は著しく、腹部のヘルニア治療にも積極的に導入されています。当院では2011年に成人そけいヘルニアに対して腹腔鏡手術（TAPP法）を導入しました。現在までに手術件数は500例を超え、成績は良好です。

その後、腹壁瘢痕ヘルニアなどにも腹腔鏡手術を行うようになり、腹部ヘルニア治療を専門的に扱う「おなかのヘルニア外来」を立ち上げました。

【対象疾患】

「そけいヘルニア」

豊富な症例数を背景に手技が安定しました。再発率は0.8%、慢性疼痛はゼロです。

「腹壁瘢痕ヘルニア」

小さい創部で大きなメッシュを用いる腹腔鏡手術で、創感染と再発のリスクを最小限に抑えることができます。

「食道裂孔ヘルニア」

従来の開腹術で行われていた手術を、そのまま腹腔鏡を用いて行います。

「直腸脱」

簡便な経肛門手術では高い再発率が問題です。腹腔鏡手術では、直腸をメッシュで包み込み骨盤に固定する、より根治的手術が可能です。

【特徴】

「おなかのヘルニア外来」では腹腔鏡手術を積極的に用います。腹部のヘルニア治療におけ

る腹腔鏡手術の最大の利点は、高い診断能力です。気腹圧によりヘルニアが脱出した状態を観察できるため、ヘルニア門の部位、大きさなどが詳細に分かります。診断が的確ですので、最適なメッシュの大きさ、補強範囲が決定できます。

また、腹部のヘルニアは痛み、嚥下困難、便秘異常など、辛い症状を引き起こすことがあります。従来の開腹術では手術創が大きくなり、特に高齢者では治療が敬遠されて患者に我慢を強いることになりがちでした。腹腔鏡手術は痛みが少なく、日常生活への復帰が早いので、より積極的に治療に介入できます。

一方で、腹腔鏡手術に必要な全身麻酔が難しい、高リスク患者もいらっしゃいます。この場合は、腹腔鏡手術にこだわらず患者個々に合わせた治療方法を提案致します。

【最後に】

腹部のヘルニアは良性疾患であり、積極的な外科治療を控えがちです。しかし、症状が改善するとQOLが大幅に向上し、高い満足度を得られます。治療を躊躇している患者さんがいらっしゃれば、ぜひ「おなかのヘルニア外来」にご紹介ください。

おなかのヘルニア外来

○診察日 月～金（平日）
 ○受付時間 8時15分～11時00分
 ○診察場所 外科外来

* 予約がなくても受診できます。
 * ご不明な点がございましたら、当院
 外科外来までお問合せください。
 （診療科直通電話：0859 - 58 - 5103）





当院では 2009 年から糖尿病患者さんへ足病変予防のフットケア外来を開設していますが、2018 年 4 月から院外の糖尿病患者さんへも対象を広げることとしました。

【背景】

糖尿病看護認定看護師として糖尿病患者さんの足病変に関わる中で実感しているのは、患者さんが生活の中でどのように気を付ければいいのかについて具体的に把握されていないことへの危惧です。例えば、踵をきれいにしようとゴシゴシ軽石で擦ったために、細かい傷から感染を引き起こし足病変につながった患者さんなどです。適切で具体的なセルフケアを生活に取り入れることができていれば、足病変につながらなかったの

ではないかと感じます。

また、当院糖尿病・代謝内科では、年に 1 回の血流評価（足関節／上腕血圧比（ankle brachial index:ABI））を行っています。405 人中 33 人の患者さんが血流障害を有しており、心臓血管外科へ紹介しました。そして 6 人に対して血管内治療を行っております。血流障害に関しては、予防的に関わることで足病変防止につなげることができると考えています。

【当院のフットケア外来の特徴】

血流評価ができることと、その結果を踏まえて看護師が行う具体的な生活指導です。血流障害においては心臓血管外科と連携をしており、必要時は紹介をさせていただきます。

基本的に予防が主体のフットケアですので、すでに潰瘍や壊死を有している患者さんは対象外となります。通常の外来診療を利用してください。

【フットケア外来受診までの流れ】

地域医療連携室を通して毎週木曜日 8：30 から 1 名の予約となります。予約には紹介患者様予約申込書と診療情報提供書が必要です。足の評価から必要時は全身をみる関わりになりますので、診療情報提供書をお願い致します。

【当日の流れ】 右図参照

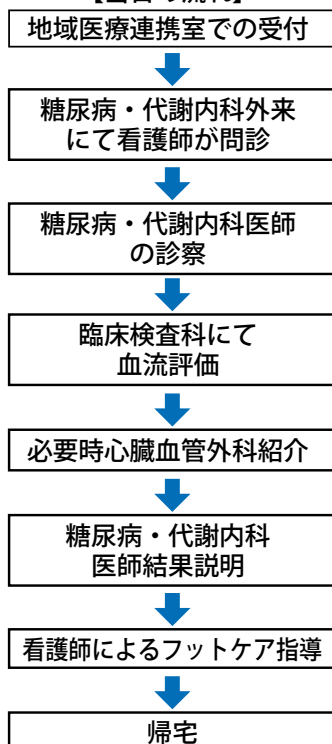
所要時間についてはおおよそ半日程度となります。追加検査や心臓血管外科に紹介した場合は、さらに時間を要しますのでご了承ください。

【最後に】

糖尿病足病変は、糖尿病性網膜症や腎症と比して認識が低い印象があります。しかし一度発症すると、生活は一変し、人生をも変えてしまうことがあります。看護師によるセルフケアの意識づけや血流障害を有する患者さんの早期発見と早期治療を行うことで、糖尿病足病変予防につなげていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。



【当日の流れ】



治療と職業生活の両立支援について



【治療と職業生活の両立支援とは】

病気を抱えながらも、働く意欲・能力のある労働者が、仕事のために治療機会を逃したり、または、治療のために職業生活の継続を妨げられることのないように、適切な治療を受けながら生き生きと働き続けられる社会を目指す取り組みです。

労働者が、がんなどの病気を理由として安易に退職を決めてしまわないように、事業者側にも、日頃から病気に関する理解の促進や労働者との良好なコミュニケーションが求められています。

【労災病院での取り組みについて】

労災病院グループでは平成 26 年 10 月より「治療就労両立支援モデル事業」を行っています。

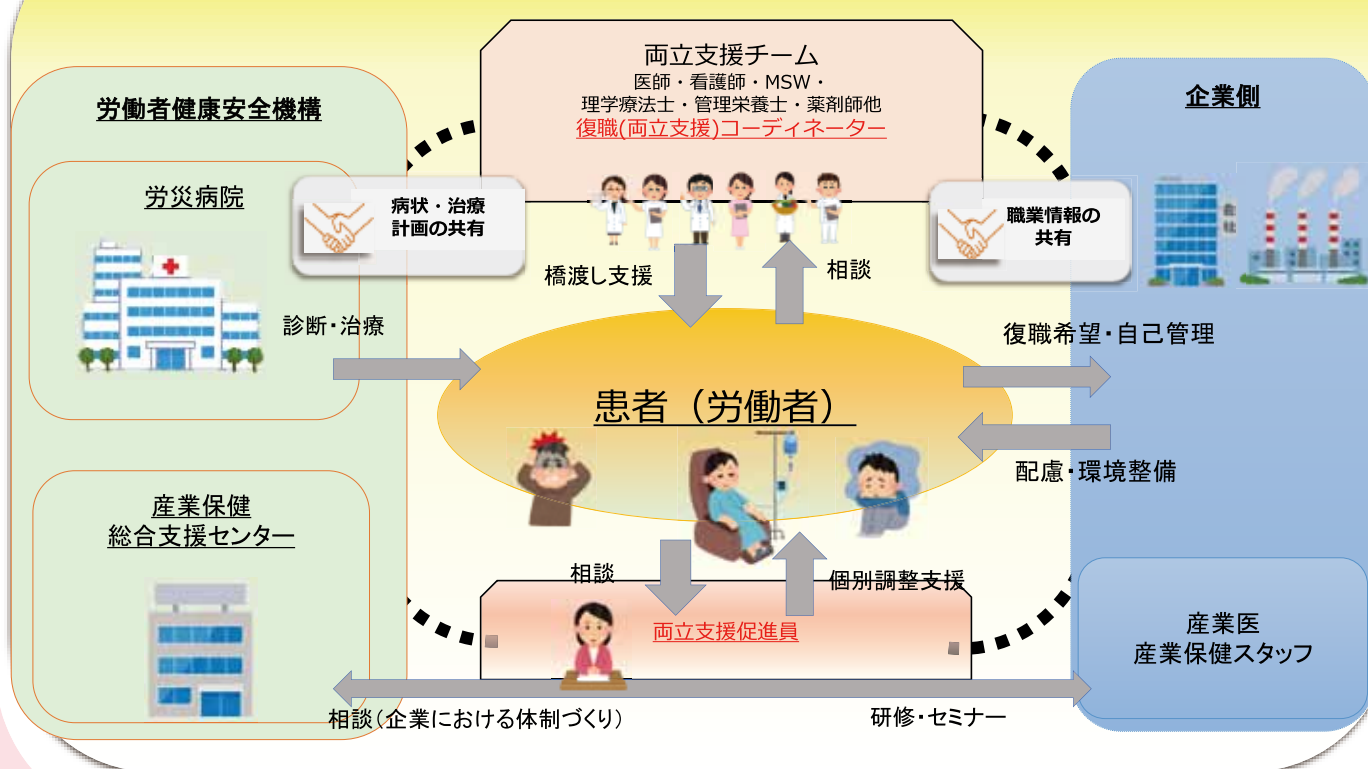
当院においても、がん、脳卒中、糖尿病、その他慢性疾患の患者さんに対し復職支援コーディネーター（労働者健康安全機構主催の復職支援コーディネーター研修を受講したMSW・認定看護師）を中心とし、支援チームによる職場復帰支援を行っています。鳥取産業保健総合支援センターとも連携し両立支援促進員として登録のある社会保険労務士と協働し支援を行う事も可能です。相談窓口を設置し、アウトリーチ等により真に支援を求めている患者さんを初期の段階で把握し、必要かつ適切な支援へと導いていくスタイルを特徴としています。相談は無料で、原則当院で治療を行っている患者さんを対象としていますが、一般的な復職相談にも対応しておりますのでご活用ください。

窓 口：山陰労災病院 治療就労両立支援部（MSW松ヶ野・足立）

相談時間：平日 13 時～ 17 時

* 事前の電話予約が必要です TEL 0859-33-8181

労働者健康安全機構の両立支援スタイル



新任医師紹介 ～よろしくお願いします～

4月1日付

●糖尿病・代謝内科医師 庄 司 恭 子



- ①出身大学（出身地）：鳥取大学（鳥取県）
- ②特技・趣味：華道
- ③自己PR：平成30年4月より糖尿病・代謝内科で勤務しております。鳥取大学を卒業後、当院で2年間初期臨床研修を行い、その後は鳥取大学医学部附属病院内分泌代謝内科で糖尿病・内分泌疾患を中心に診療を行ってまいりました。

糖尿病は生活習慣が大きく関わる疾患であり、患者さんが日々の生活の中で療養を継続できるようサポートすることが医療者側の大きな役目と感じております。各職種の医療スタッフと連携しながら、患者さんが疾患と上手につきあっているよう支援できるような診療を行っていきたくと考えております。

まだまだ未熟ではございますが、当院での診療を通して少しでも地域の皆様や地域の医療のお力になればと思います。よろしくお願い申し上げます。

●外科医師 菅 澤 健



- ①出身大学（出身地）：鳥取大学（兵庫県）
- ②特技・趣味：音楽鑑賞
- ③自己PR：平成30年4月より消化器外科で勤務しております。昨年までは松江市立病院で勤務しておりました。出身は兵庫県の北部の八鹿という山間の町です。日本海と大山に囲まれたここ米子の土地で医療に携われる事を嬉しく思っています。

消化器外科として消化器癌からヘルニアや胆石などの良性疾患まで幅広く手術を担当しています。また緩和医療や栄養学など手術以外の分野にも力をいれていきたいと思っています。

患者さん目線の医療を行う事を目標としております。どうぞよろしくお願いいたします。

●腎臓内科副部長 山 本 真理絵



- ①出身大学（出身地）：金沢医科大学（鳥取県倉吉市）
- ②特技・趣味：ゴルフ
- ③自己PR：平成30年4月より腎臓内科で勤務しております。母校で初期研修医を行い、後期研修を岡山済生会病院で行いました。

昨年までは、鳥取市の透析専門クリニック「さとに田園クリニック」に勤務しておりました。

腎臓・透析の知識を深め、患者さんの信頼を得ることが出来るように努力をしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

●外傷整形外科部長 村 上 大 気



- ①出身大学（出身地）：鳥取大学（島根県松江市）
- ②特技・趣味：特になし
- ③自己PR：平成30年4月より整形外科で勤務しています。鳥取大学を卒業し、昨年までは松江市立病院に勤務していました。

整形外科として小児から高齢者までの骨折や脱臼、腱や靱帯損傷等の外傷治療のための手術を中心に、変形性関節症に対する人工関節置換術や肩関節・膝関節の関節鏡視下手術などを行ってきました。

外来治療では関節リウマチ治療に対する生物学的製剤の導入や、高度骨粗鬆症に対してPTH製剤やデノスマブの導入を行っています。

外傷治療については早期の治療退院を目標とし、外来治療では地域の医療に貢献したいと考えています。よろしくお願いします。

●消化器内科医師 長谷川 亮 介



- ①出身大学（出身地）：鳥取大学（大阪府吹田市）
- ②特技・趣味：温泉巡り
- ③自己PR：平成30年4月より消化器内科で勤務を行うこととなりました。これまでは浜田医療センターと厚生病院で勤務してきました。久しぶりに米子市に戻って、大山の美しさに改めて心を洗われる今日の頃です。出身は大阪ですが、人生の半分を山陰で過ごし、なかなか抜けにくい大阪弁も山陰の方言と化学反応を起こして、何かよく分からない表現が生まれ始めているようにも思います。

去年は浜田医療センターで働きましたが、それなりに忙しい1年でした。山陰労災病院は患者さんの数も多く、日々の検査や病棟での仕事、救急外来等、大変忙しい病院と聞いてきました。少し疲れてしまった場合は、病院のすぐ近くの歴史ある皆生の癒しの湯で心身ともにリフレッシュしながら、微力ながらも少しでも地域の皆様のお役に立てればと尽力する次第ですので、皆さま宜しくお願い致します。

●心臓血管外科医師 仁 井 陸 冬



- ①出身大学（出身地）：鳥取大学（鳥取県米子市）
- ②特技・趣味：テニス
- ③自己PR：私の専門分野は心臓血管外科で、心臓血管外科医になってからはまだ2年目です。専門医は持っていませんが、下肢静脈瘤の治療や下肢閉塞性動脈硬化症のカテーテル治療、またステントグラフト治療も積極的に行っていきたいと思っています。

心臓手術も数多く経験していき、今後の診療に生かしていきたいと思います。熱意と根性で頑張っていきたいと存じます。

●神経内科医師 青 笹 有 紀



- ①出身大学（出身地）：鳥取大学（鳥取市）
- ②特技・趣味：読書、神社仏閣めぐり
- ③自己PR：平成30年4月より神経内科で勤務することとなりました。鳥取大学を卒業後、松江赤十字病院で初期研修を行い、その後鳥取大学医学部脳神経内科に入局しました。

平成28年4月より半年間大学病院、同年11月より鳥取県立中央病院で勤務しました。

地域の中核病院である当院の一員として、脳卒中や認知症、頭痛など比較的頻度の多い疾患から神経難病まで神経内科一般の診療にあたらせていただければと思います。

まだまだ未熟で至らない点も多いかと思いますが、丁寧な診療を心がけ、症例を通して勉強させていただきます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

退任医師 ～お世話になりました～

3月31日付

- 糖尿病・代謝内科副部長 塩 地 英 希
- 神経内科副部長 河 瀬 真 也
- 消化器内科医師 星 野 由 樹
- 内視鏡外科部長 建 部 茂

- 脊椎整形外科部長 楠 城 誉 朗
- 心臓血管外科医師 熊 谷 国 孝
- 泌尿器科部長 渡 部 信 之